

未来を支える粒子になる。

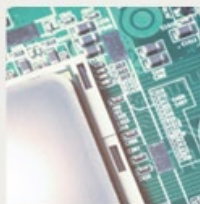
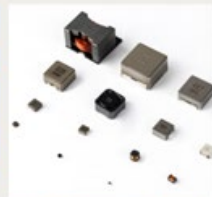


戸田工業株式会社

東証スタンダード 証券コード:4100

新規投資家向け資料

2026年8月



微粒子の可能性を、世界の可能性に変えていく。



- 事業内容
- 中期経営計画「Vision2026」の概要
- 未来を創る成長ストーリー

事業内容



微粒子の可能性を、世界の可能性に変えていく。

私たち戸田工業グループが向き合っているのは、
素材としての粒子であり、社会であり、人です。

微粒子と人の可能性を信じ、
これからも世界を支える新しい可能性を作り続けていきます。

戸田工業とは？

私たちは広島県に本社を置く、**酸化鉄**を中心とした化学素材メーカーです。

(注)2026年3月末時点

業種： 無機化学品製造

資本金： 74.77億円

上場市場名： 東証スタンダード(証券コード:4100)

連結売上高： 280億円(2026年3月期)



創業

203 年目
(創業1823年)



従業員数

連結 **1,037** 名
個別 **357** 名



開発従事者
個別

約3分の1



特許保有数

446 件



国内子会社

15 拠点



CO₂排出量
(国内・Scope1+2)

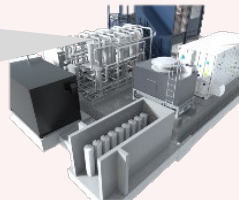
30,355 t



酸化鉄の着色顔料
「ベンガラ」



CO₂回収材
「Na-Fe系酸化鉄」



「大阪・関西万博」にエア・ウォーター社と共同出展した
CO₂回収装置の実証装置
(酸化鉄とナトリウムから成るCO₂回収材を使用)



メタネーション原料
ドライアイス

酸化鉄とは？

- 特性 無害性、安定性
- 機能
 - ① 色 (光学的特性)
 - ② 磁性 (磁気特性)
 - ③ 触媒活性 (化学的特性)



■ 一般的な用途

【色】着色

壁画、陶器、建築材着色、道路 など



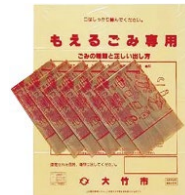
【磁性】磁石、磁心

モータ、インダクタ、リアクトル など



【触媒活性】触媒

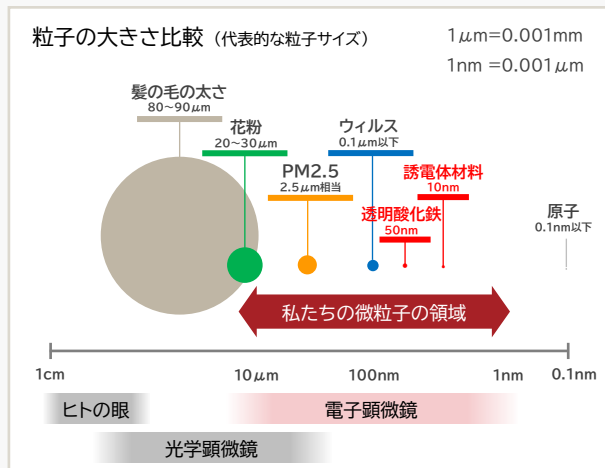
省エネ燃烧触媒 など



戸田工業の技術的強み ～200年で培った微粒子合成技術～

■ 私たちの微粒子開発領域

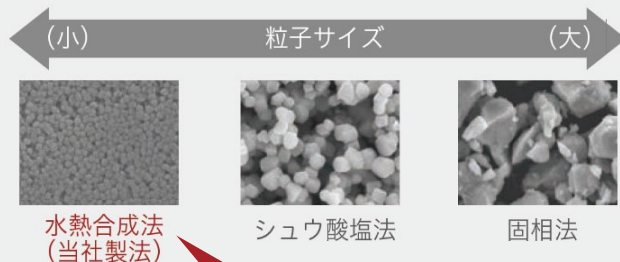
- ・私たちの微粒子サイズ＝電子顕微鏡でしか見えない世界
- ・数ナノメートルから数十マイクロメートル



■ 微粒子合成技術とすり合わせ力

- ・「微粒子合成技術」：微粒子の世界で粒子の形状・大きさ等をコントロール
- ・「すり合わせ力」：お客様との継続的で密な対話により、共に価値を創造

事例紹介「MLCC用誘電体材料」製法の違いによる粒子サイズ



ウイルスより小さい世界で、粒子を制御
お客様の求める粒子を開発

200年の軌跡 <売上高>

1823年
創業

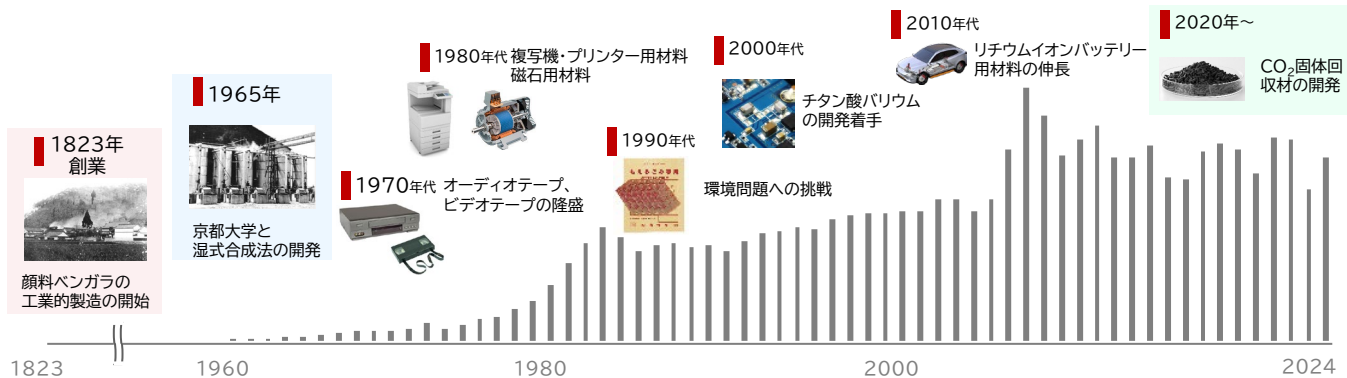
- ・着色顔料「ベンガラ」を工業的製造
- ・乾式合成法を用いた生産
- ・陶器・建築材などの色付けに供給

1960年代～
革新的な生産方法の確立

- ・京都大学と独自の微粒子合成術を確立
- ・顔料メーカーから電子素材メーカーへ
着色顔料から磁気記録材料へ事業領域を拡大

2025年
事業ポートフォリオマネジメント推進

- ・要素技術を応用し、新事業へ展開
- ・CO₂固体回収材、MLCC用チタン酸バリウムなど
- ・モビリティ・AI・環境分野に向けて製品を展開



連結売上高 材料別構成比 (2025年度)

磁性の特性を活かした電子部品の材料として
モビリティ・AIフィールドに展開

電子素材セグメント

202億円



磁石材料

114億円(40%)



軟磁性材料

60億円(21%)



誘電体材料

19億円(7%)

着色や触媒活性の特性を活かした材料として、
主に環境フィールドに展開

機能性顔料セグメント

78億円

着色顔料・トナー

62億円(22%)



触媒

16億円(6%)



LIB用材料

5億円(2%)



ハイドロタルサイト

5億円(2%)



連結売上高
280億円

中期経営計画「Vision2026」の進捗

1. 事業戦略
2. 財務戦略
3. 人財戦略

中期経営計画「Vision2026」の位置づけ、戦略

位置づけ

Mission “事業ポートフォリオマネジメントの強化”

Vision
2026

ありたい姿

最終年度	2026年度 計画 (2024年6月公表)	2030年度 目標
営業利益率	5%	8%以上
ROE	11%	10%以上
自己資本比率	29%	40%以上
CO ₂ 排出量 (国内・Scope1+2)	26,500t 2013年度対比* 70%削減相当	22,000t以下 2013年度対比* 75%削減相当

* 2013年度CO₂排出量:約89,000t

3つの戦略

1 事業戦略

- ・収益性・成長性の観点から各事業の位置づけを明確化
- ・戦略を策定し、3か年の計画を推進

		事業ポートフォリオ			
セグメント	事業	成長	収益基盤	次世代	再生・転換
電子 素材	磁石材料	●			
	誘電体材料	●			
	軟磁性材料			●	
	LIB用材料 (持分法適用関連会社)	●			
	LIB用材料(前駆体)				●
機能性 顔料	ハイドロタルサイト				●
	着色顔料・トナー用材料				●
	触媒など		●		
	環境関連材料(開発)			●	

2 財務戦略

- ・財務基盤の安定と資本効率を意識した事業運営

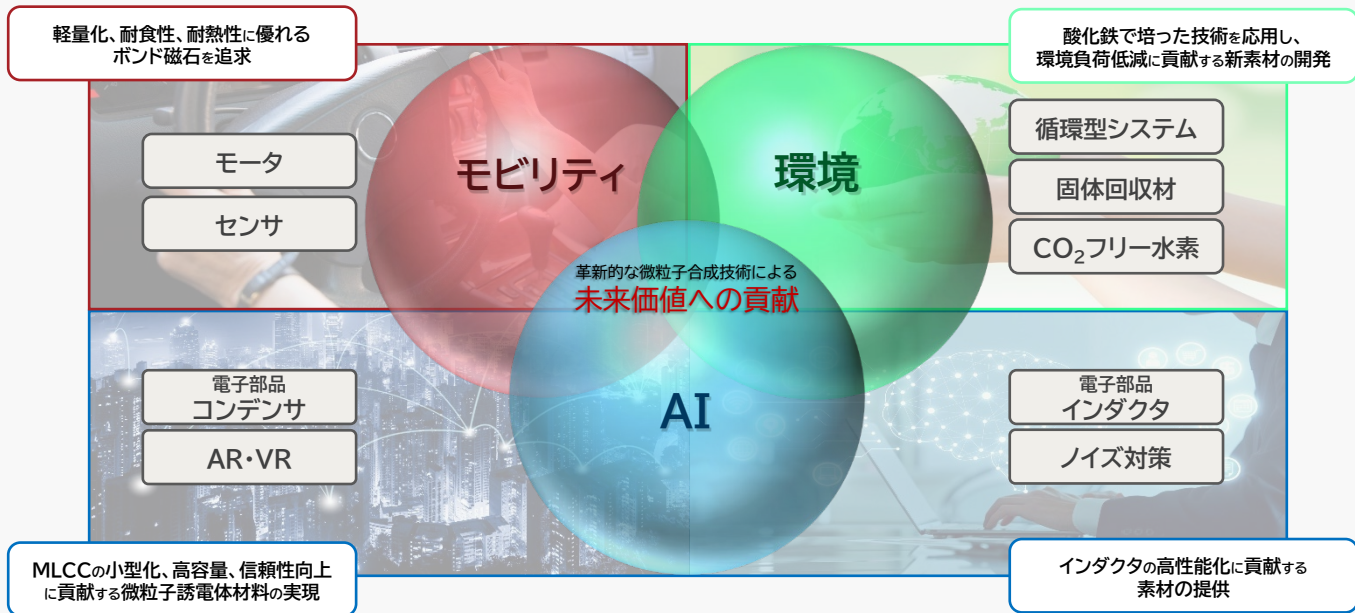
3 人財戦略

- ・主要部門のサクセッションプラン強化
- ・女性およびマイノリティのキャリア開発
- ・DX推進のための人財育成

中期経営計画「Vision2026」の進捗

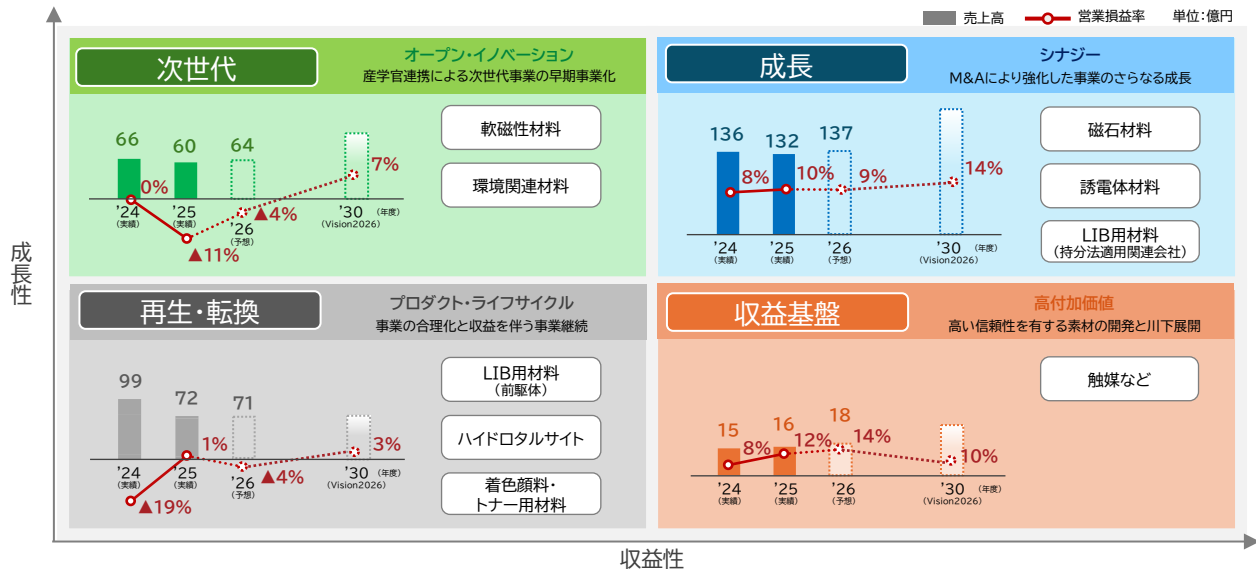
1. 事業戦略

1. 事業戦略 私たちが貢献する成長フィールド



1. 事業戦略 「事業ポートフォリオマネジメントの強化」による各事業の位置づけと進捗

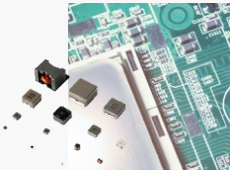
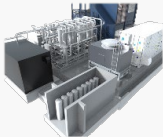
- ・ 成長性、収益性の観点から各事業の位置づけを明確化
- ・ 「再生・転換」事業の再構築が進展し、収益力回復。「成長」、「次世代」事業のさらなる拡大に向け、経営資源を投下していく



1. 事業戦略【成長事業】

成長	磁石材料		誘電体材料	
	軽量化、耐食性、耐熱性に優れたボンド磁石を追求		MLCCの小型化、高容量、信頼性向上に貢献する微粒子誘電体材料の実現	
事業計画と主な用途	■ 売上高 ■ 営業損益率 単位:億円 '24 (実績) '25 (実績) '26 (予想) '30 (Vision2026) 車載、家電用のモータ、センサ		■ 売上高 ■ 営業損益率 単位:億円 '24 (実績) '25 (実績) '26 (予想) '30 (Vision2026) MLCC	
市場シェア (当社調べ)	ボンド磁石用コンパウンド材料 シェアNo.1		MLCC電極層向け共材チタン酸バリウム シェアNo.1	
強み	・フェライトから希土類まで扱い、粉体から成形品まで幅広いラインナップ ・日本、中国、タイでの供給体制		・ナノサイズ以下、高結晶・均一組成の微粒子を製造する水熱合成技術 ・水熱合成法の特徴を活かした分散加工技術	
成長戦略	1. コンパウンド生産能力を増強し、競争優位を維持・拡大 2. 地政学的リスクの回避するため生産拠点や原料ソースを複数構築 3. 部品の小型化・軽量化に貢献する高性能磁石の開発		1. 微粒子に特化した開発・製造。共材を供給するニッチャーのポジションを堅持 2. 水熱合成法を活かした分散体の提供。お客様の工数削減、品質不良の低減に貢献 3. 生産体制の強化。需要増加に対応すべく、順次生産能力を拡大	
トピックス	・希土類コンパウンドにおいて既存品対比7%の磁力アップをラボ機レベルで達成(目標:27年度までに30%アップ) ・希土類コンパウンド製造ライン追加により、生産能力を増強(700→900t/年)		・電子セラミック・プロセス研究会 2024年度(第6回)一ノ瀬昇賞受賞 ・分散体工程 2025年度稼働開始(大竹事業所)	

1. 事業戦略【次世代事業】

次世代		軟磁性材料		環境関連材料	
		インダクタの高性能化に貢献する素材の提供		酸化鉄で培った技術に応用し、環境負荷低減に貢献する新素材の開発	
事業計画 と 主な用途	■ 売上高 ● 営業損益率 単位:億円 66 '24 (実績) 60 '25 (実績) 64 '26 (予想) 70 '30 (Vision2026) 0% 11% 4% 7%  インダクタ、電磁波ノイズ対策部品		2027年以降、事業化し、2030年度 売上高10億円を目指す  CCUS(CO₂回収・利用・貯留)  CO₂フリー水素製造		
	強み	・微粒子メタル磁性粉を製造する独自の技術(微粒子還元法、水アトマイズ法) ・精緻な表面処理技術および樹脂との複合化技術		・200年培った酸化鉄に関するノウハウと製造設備 ・安価なナトリウムと鉄を用いたCO₂回収材の特許網 ・酸化鉄触媒を用いたCO₂フリー水素製造技術	
成長戦略	1. メタル系軟磁性材料のワンストップ提供。磁性粉～コンパウンドまでカスタマイズ 2. 海外生産拠点であるTDMIと連携		1. CO₂固体回収材の社会実装 CO₂分離回収コスト2,000円台/t-CO₂の実現を目指す 2. CO₂フリー水素サプライチェーンを構築		
トピックス	・AI サーバ市場の拡大に伴う低損失メタル材料の需要増加 ・車載電子機器の高性能化等に伴う電磁波ノイズ対策材料および部品の需要増加		・CO₂回収材：2027年度販売開始を目指し、工場設計中 ・CO₂フリー水素製造(メタン熱分解技術)：北海道豊富町に実証プラント建設		

中期経営計画「Vision2026」の進捗

2. 財務戦略

2. 財務戦略

- ・営業利益率、ROE、自己資本比率、運転資本回転期間を経営目標数値(KPI)として設定
- ・財務基盤の安定と資本効率を意識した事業運営に取り組む

2025年度実施結果

資本効率向上のための施策

- ・キャッシュフロー改善の徹底(2025年度通期実績)
CCC: 6.6か月(25/3末) → 5.3か月(Δ1.3か月)
営業損益: ▲6億円(25/3末) → 9億円(+15億円)
- ・事業計画・投資判断にNPVなどの業績目標を設定し、
資本コストに反映

2026年度実施予定

計画目標の必達

- ・事業ポートフォリオマネジメントの強化を加速させ、資本効率の改善を推し進める
- ・収益力の強化に向けた活動に引き続き取り組み、利益創出を図る

運転資本回転期間のさらなる改善

- ・棚卸資産の適正化、売上債権のサイト短縮、支払サイトの改善

連結資産のスリム化

マテリアリティ指標	2024年度 (実績)	2025年度		2026年度		2030年度 (目標)
		Vision2026 KPI	実績	Vision2026 KPI	予想	
営業利益率(連結)	▲ 2.0%	4.0%	3.1%	5.0%	3.4%	8%以上
ROEの安定化(連結)	▲ 29%	11%	▲ 35%	11%	6%	10%以上
自己資本比率(連結)	22%	27%	19%	29%	20%	40%以上

株主還元

当社は安定的な配当を継続することを最も重要視しております。しかしながら、現時点では、安定配当を実施するための基盤が未だ整っていないことから、配当を見送る判断をいたしました。「Vision2026」の期間において復配に向けた体制の整備に注力し、安定的に利益還元が可能となるよう取り組んでまいります。

中期経営計画「Vision2026」の進捗

3. 人財戦略

3. 人財戦略 技術立社を支える人財開発 ～発展のカギは人！～

- ・経営戦略と一体となった人財戦略を実行。3つの重点施策を軸に取り組み、技術立社を支える人財開発を推進

主要部門のサクセッションプラン強化

- ・指名・報酬諮問委員会運用や報酬制度を見直し、後継者育成に向けたガバナンス・制度基盤を整備
- ・キーポジション定義や人財要件を明確化し、候補者育成・モニタリングを含む制度運用を開始する

女性およびマイノリティのキャリア開発

- ・研修や両立支援、採用強化を通じ多様性理解を深化し、活躍できる環境整備を推進
- ・多様な人財の採用・配置・育成を強化し、女性の活躍機会拡大と管理職層の多様性向上を推進する

DXの推進を加速する人財育成

- ・現場主導で業務棚卸しとデジタル化を推進し、DXに向けた基盤構築と人財育成を実施
- ・研修や実践を通じDX人財の育成を加速し、全社の推進力強化と意思決定の迅速化を実現していく



経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得
(2026年2月10日公表)

事業基盤の強化、次世代ビジネス創出を目指し、
DXのさらなる深化と全社展開を推進してまいります。

マテリアリティ指標	2023年度 (実績)	2024年度 (実績)	2025年度 (実績)	2030年度 (目標)
女性従業員比率	17.2%	19.6%	20.8%	25%以上
管理職に占める女性比率	1.9%	1.0%	2.1%	10%以上
男性従業員の育児休業・育児目的休暇 取得率	100%	100%	100%	95%以上
従業員エンゲージメント向上	4.66点/7点	- (隔年測定)	実施※	-

※2026年1月に第2回目の測定実施。フィードバックと課題への対応は2026年度上期実施予定



私たちは、結びつき、力を合わせ、
未来への希望となる新しい価値の創造に挑みつづける。
微粒子と、人の可能性を信じて。

未来を支える粒子になる。

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基き算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

また事業セグメントを構成する材料別の売上高は任意で公表しているものであり、監査を受けておりませんので参考値とご承知おきください。

Appendix

【参考】事業ポートフォリオマネジメントの進捗 材料別の業績実績・予想

単位:億円

位置づけ	材料	連結売上高			営業利益		
		'24年度 (実績)	'25年度 (実績)	'26年度 (予想)	'24年度 (実績)	'25年度 (実績)	'26年度 (予想)
	全事業	317	280	290	▲ 6	9	10
成長	磁石材料	121	114	116	11	13	13
	誘電体材料	15	19	21	0	▲ 0	0
次世代	軟磁性材料	66	60	64	0	▲ 7	▲ 2
収益基盤	触媒	15	16	18	1	2	3
再生・転換	LIB用前駆体	24	5	2	▲ 13	1	0
	ハイドロタルサイト	9	5	5	▲ 2	▲ 2	▲ 1
	着色顔料・トナー	66	62	64	▲ 4	1	▲ 2

「統合報告書2025」、「ESG BOOK2025」公開のお知らせ（2025年10月30日公表）

■ 概要

ステークホルダーの皆様にとって、目的に応じた分かりやすい情報開示を実現するため、「統合報告書2025」と「ESG BOOK2025」に分けて公開

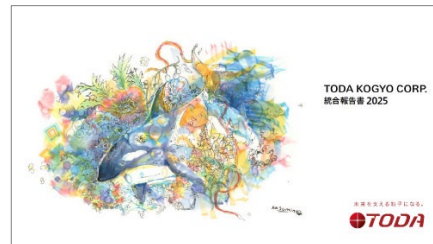
■ 「統合報告書2025」 主な構成

- ・ TOP MESSAGE
- ・ 中期経営計画「Vision2026」
- ・ 価値創造プロセス
- ・ 事業別戦略

■ 「ESG BOOK2025」 主な構成

- ・ マテリアリティ
- ・ 環境、社会、ガバナンスに関連する活動
- ・ 各種データ

「統合報告書2025」は、当社 WEB サイトよりご覧いただけます。



統合報告書2025



ESG BOOK2025

未来を支える粒子になる。



本資料に関するお問い合わせ先

戸田工業株式会社

経営企画室 広報グループ

TEL : 082-577-0055

E-mail : tkc-pr@ml.todakogyo.co.jp